

ひらいた門

見よ。わたしは、だれも閉じることのできない門を、あなたの前に開いておいた。なぜなら、あなたには少しばかりの力があって、わたしのことばを守り、わたしの名を否まなかったからである。 黙示録3：8

VOL.01-04 NO.004 2009年7月

チャーチ・オブ・ゴッド

川崎南部キリスト教会

〒210-0025 川崎区下並木66

TEL&FAX 044-233-3648

Eメール：nanbu-kyokai@nifty.com

URL：<http://homepage2.nifty.com/nanbukyokai/>

口を慎む

橋本幸夫

「悪いことばを、いっさい口から出してはいけません。ただ、必要なとき、人の徳を養うのに役立つことばを話し、聞く人に恵みを与えなさい。」

(エペソ4：29)

言葉は取り消すことが出来ません。記憶がある限りどんな言葉も決して死ぬことはありません。言葉を賢明に選びましょう。言葉はふしぎな力を持っています。蜜のように甘くまた同時に蜂のように刺します。

言葉は暖かく太陽のように人を恵み、厳しい人生を明るくすることもできるし、また憤りのとき、突然両刃の剣のように突き刺し、心を血まみれにすることもできます。この世を悲しい所にするか、楽しい所にするかは、私たちが口にする言葉によります。

言葉は永遠に生き続けるものだから、冷たく、残酷なかどのある言葉を控えましょう。言葉の与える傷は治りにくいものです。私たちの毎日语る言葉が美しく、真実な言葉でありますように。

静かな水に小石を投げてみましょう。たちまちしぶきをたてて消えていきます。何百ものさざ波が、輪を描いて広がりながら中心から離れ、どこで終わるか誰も分かりません。

不親切で軽率な言葉を語れば、とうてい止められないさざ波としぶきが残ります。もしかしたら、ある人の寂しい心に私たちの軽率な言葉が涙の波を起こし、相手の静かな人生をかき乱すかもしれません。

気を引き立てるようなやさしい言葉を語れば、その言葉はひらめきのようになぐ消えていきますが、何百ものさざ波が輪を描いて広がり、希望と喜びと慰めをもたらします。打ち寄せ、またはね返り、信じられないくらい大きく深く喜びの波紋は消えようとしません。

こうして私たちは慰めの波を起こします。優しいひと言を語ったとき、その甘美な旋律は彼方まで聞こえます。

「私の口のことばと、私の心の思いとが御前に、受け入れられますように。」

(詩篇19：14)